Panasonic

VIERA
ビエラ・ワンセグ

取扱説明書
ポータブルテレビ

品番 SV-ME970



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（30 ～ 34 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

水のかかるところでご使用の前に

4、5 ページを必ずお読みください。

本機の詳しい操作説明について

本機の使いかたなど詳しい操作説明は、本機の内蔵メモリーに記録された詳細操作ガイド（PDF ファイル）に記載されています。

- 詳細操作ガイドは本機から PDF ファイルをパソコンに転送して保存したあと、パソコンでご覧ください。転送のしかたは 23 ページをお読みください。

VQT3Q41-2

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（30 ～ 34 ページ）

まずお読みください

■ 取扱説明書について

取扱説明書（本書）：

本機の基本操作や主なアプリケーションの操作の流れ、詳細操作ガイド（PDF）をご覧になる方法を説明しています。

詳細操作ガイド（PDF ファイル）：

本機の操作説明やお知らせ事項など本機を操作する上で必要な情報を記載しています。

■ 記録内容の補償はできません

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品および内蔵メモリーやSDカードの不具合で録画や録音されなかった場合の内容の補償については ご容赦ください。
- 本製品を修理した場合、内蔵メモリーはお買い上げ時の状態になることがありますので、パソコンや SD カードなどにデータのバックアップをとることをおすすめします。

■ 本書内の表記とイラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- インターネットを経由して利用するアプリケーション（P11）は、サービス提供会社の都合により予告なく変更することがあります。そのため、本書で記載の画面と異なる場合があります。

■ 付属品



付属品をご確認ください。記載の品番は、2011 年 6 月現在のものです。

□ AC アダプター (RFEA506J)
□ USB 接続ケーブル (K1HY04YY0064)
□ グリップベルト (RFA3330)

●**本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。**
●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

CLUB Panasonic
Pana Sense

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

■ 使用上のお願い

- **本機を落としたり、ぶつけたりしないでください。また、本機に強い圧力をかけないでください。**
  強い衝撃が加わると、液晶モニターや外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しないでください。**
- **IH クッキングヒーターの上に置かないでください。**
  本機や IH クッキングヒーターが故障する原因になります。
- **スピーカーの底面や側面の穴（音孔）に異物を入れないでください。**
  異物で音が小さくなったり、ひずむなどの原因になります。またスピーカーが破損し故障する原因になります。

お手入れ

本機の電源を切ってから（P9）乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■ SD カード（別売）について

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えないでください。

- SDカードが破壊されるおそれがあります。また、SDカードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

防水について（ご使用前に必ずお読みください）

■ 本機の防水性について

本機は、JIS C 0920（IEC 60529）「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」の IPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。

IPX6（噴流に対する保護等級）

本機から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/ 分の水を 3 分以上注水したあと、本機の機能が動作することに対応しています。温水には対応していません。

IPX7（浸水に対する保護等級）

常温の水道水にて、水深 1 m に本機を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、本機の機能が動作することに対応しています。水中に落下させたり、水中で操作したり、お風呂などの温水につけることには対応していません。

防水対象の液体	対応	真水、水道水
	非対応※	石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プールの水、海水

※非対応の水中につけないでください。

■ 水のかかるところ（浴室や台所など）で使用するときはカード / 端子ふたをしっかり確実に閉じて以下のことをしないでください

- **AC アダプターを接続して使用しない**
  ぬれた手などで触ると感電のおそれがあります。
- **ヘッドホンを接続して使用しない**
  接続部から水が入り故障の原因になります。
- **SD カードを入れたり交換したりしない**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

カード / 端子ふたをしっかり閉じていても以下のことをしないでください

- **故意に水の中に入れない**
  誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布のようなものでふいてください。
- **石けん水やシャンプーなどの液体をかけない**
  誤ってかかった場合は、速やかに洗い流し、柔らかい布のようなものでふいてください。
  ① 常温の水道水を弱めの水量にして洗い流してください。（洗剤で洗わないでください）
  ② ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しない**
  使用後は、柔らかい布のようなもので水滴をふきとり、浴室から持ち出して室内に置いてください。
- **サウナで使用しない**
- **寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない**
  本機が冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起きて本機内部に水滴が付くことがあり、故障の原因になります。

■ 防水性を保つには、以下のことに気をつけて取り扱ってください

本機を落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない

本機が変形や破損し、防水性が保てなくなります。

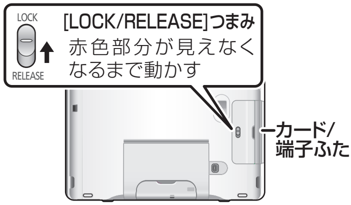
■ カード / 端子ふたの取り扱いについて

ふたをしっかり確実に閉じてください。

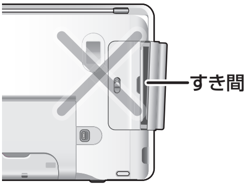
ふたが開いたまま使用すると本機内部に水が入り故障します。以下の場合でも内部に水が入り故障します。

❶ ふたが完全に閉じられておらず、すき間がある

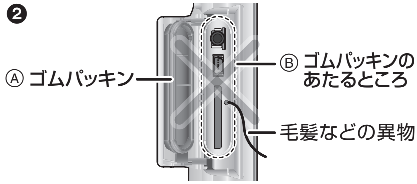
❷ ゴムパッキン（Ⓐ）、ゴムパッキンのあたるところ（Ⓑ）に毛髪、糸くず、砂、ほこりなどの異物が付着したまま閉じている



❶



❷



- カード / 端子ふたには [LOCK/RELEASE] つまみを備えています。
  ご使用前に必ず [LOCK/RELEASE] つまみの赤色部分が隠れていることを確認してください。
- ゴムパッキンにひび割れや変形がある場合は、そのまま使用しないでください。

防水性を維持するため、2 年に 1 度はゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換（有料）をおすすめします。

- **手がぬれた状態や本機に水滴が付いたままでふたを開けたり閉めたりしないでください。**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

■ 水のかかるところでご使用後のお手入れ

- **本機をしっかり持ち、軽く振ってスピーカーなどに付いた水滴を落としてから、乾いた柔らかい布のようなもので本機をふいてください。**
  寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなどの原因になります。
- **汚れがひどいときは、水に浸した布を絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。**
  ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので、使用しないでください。

万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。なお、付属品は防水仕様ではありません。（グリップベルトは除く）

各部の名前

動作表示ランプ

点灯	充電中
点滅（約1秒間隔）	録画中、DLNA対応機器からファイル転送中、Podcast/RSS の内容をダウンロード中
点滅（約3秒間隔）	音楽再生中

電源ボタン
[•DISP/−POWER]





戻る [⮌]
メニュー設定時などに押すとホーム画面に戻るまで前の画面に戻ります。

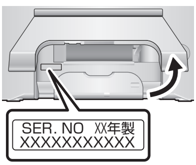
ホーム [⌂]
ホーム画面（P10）を表示します。

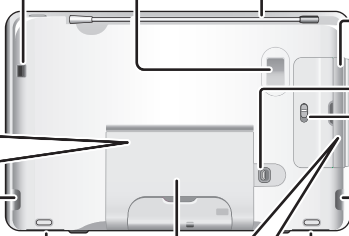
メニュー [☰]
現在起動しているアプリケーションで設定できるメニューを表示します。

音量 [＋][−]

タッチパネル / 液晶モニター
本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。反応しにくいと感じるときは少し強めに操作してください。

製造番号について
スタンドを開いたところに記載されています。

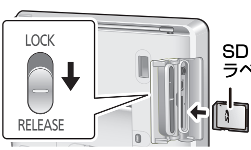




カード / 端子ふたの開けかた

❶ [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす

❷ カード/端子ふたを引き出し、開ける





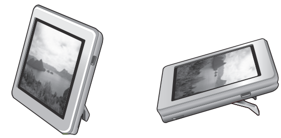
電源の入 / 切ができないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。

スタンド / グリップベルトの使いかた

スタンドの使いかた

スタンドを使用すると、本機を手で持たずにビデオファイルやテレビ放送などを見ることができます。
スタンドは立てて使用する場合と、倒して上から映像を見る場合の 2 とおりの使いかたができます。

立てて使用　　倒して使用



■ 本機を立てて使用する場合



スタンドを矢印の方向に開いてください。

■ 本機を倒して使用する場合

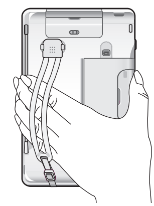


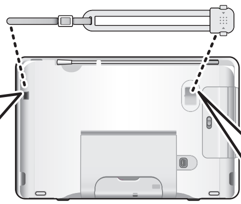
お知らせ

- スタンドの角度の調整はできません。
- スタンドを無理に開かないでください。スタンドが変形し破損します。
- スタンド使用時に本機を操作する場合は、本機を手で支えながら操作してください。
- 本機を倒して使用するときは、上から押さえつけたり重いものを載せないでください。

グリップベルトの使いかた

付属のグリップベルトを本機に取り付け、グリップベルトに手を通して、本機を手に持ってお使いいただけます。グリップベルトを使用すると本機が安定するのでタッチパネルの操作がしやすくなります。





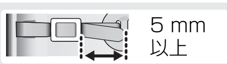
❶ グリップベルトを固定する

① グリップベルト取り付け部に通す



② 止め具に通す



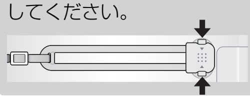


- 固定するときは止め具から 5 mm 以上出るようにしてください。

❷ グリップベルトを「カチッ」と音がするように装着する

グリップベルトを外す

矢印の部分を押しながら外してください。



電源の準備をする

AC アダプターを使用すると、電池残量を気にせずに部屋などで長時間連続してテレビ放送などを視聴できます。

1 AC アダプターをコンセントに差し込む



充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

電源を切った状態、もしくはスタンバイ状態で AC アダプターに接続する



充電時間について

充電時間※	約 7 時間
充電回数	約 500 回

※ 周囲温度 25 ℃ / 電池を使い切った状態で、電源「切」もしくはスタンバイ状態で充電時

■ 本機使用中の充電について

本機使用中でも充電されますが、満充電になるまで約 9 時間かかります。

充電中の電池残量表示

充電中：「 」　　充電完了：「 」

本機に水滴が付いているときは

本機に水滴などが付いた状態で AC アダプターを接続しないでください。この場合、柔らかい布のようなもので水滴をふき取ってから電源の準備をしてください。

お知らせ

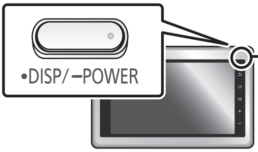
- ぬれた手で AC アダプターを接続したり、水のかかるところで AC アダプターを使用しないでください。
- AC アダプターは本機専用です。必ず付属の AC アダプターを使用してください。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。

電源を入れる・切る / 時計設定をする

電源を入れる・切る

■ 電源を入れる

[•DISP/−POWER] ボタンを動作表示ランプが点滅するまで押したままにする



- ホーム画面（P10）が表示されるまでに数十秒かかります。

■ 電源をスタンバイ状態にする

画面が消灯します。

[•DISP/−POWER]ボタンをポンと押す

◇ 再度画面を点灯させるには
[•DISP/−POWER] ボタンをポンと押す

■ 電源を切る

電源を完全に切ります。

❶ 確認画面が表示されるまで[•DISP/−POWER]ボタンを押したままにする

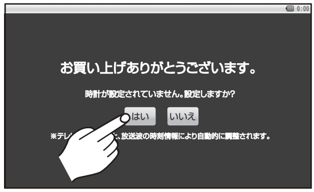
❷ 確認画面で「OK」を選ぶ

お知らせ
- 電源を切ると予約録画（P13）やかんたん自動転送（P17）は実行されません。この場合はスタンバイ状態にしてご使用ください。

時計設定をする

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは時計未設定をお知らせする画面が表示されます。時計設定をしないと本機が正しく動作しないことがあるので、時計設定をしてからご使用ください。

❶ 時計未設定お知らせ画面で「はい」を選ぶ



- あとから時計設定をする場合は「いいえ」を選んでください。この場合、「2011 年 1 月 1 日 0:00」に設定されます。

❷ 各設定項目の「+」「−」をタップ※して数字を変更し、「完了」をタップする



※タップ：画面上を触れて離す操作

タッチパネルについて

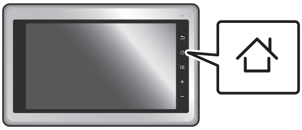
本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプのタッチパネルです。
- 市販の保護シートを貼り付けて使用している場合や反応しにくいと感じるときは、**少し強めに操作**してください。

ホーム画面からの基本操作

本機ではホーム画面からアイコンを選んでアプリケーションを起動したり設定画面を表示します。

● 電源を入れて、画面を点灯させておく（P9）

❶ 本機の [⌂] を押す



ホーム画面が表示されます。

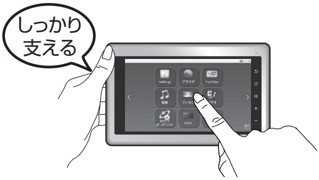
❷ 操作したいアプリケーションを選ぶ

ホーム画面



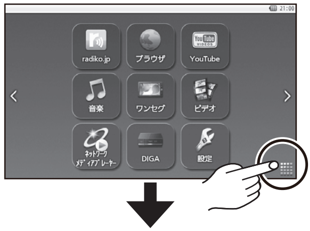
お知らせ

- 画面（タッチパネル）には、万一破損した場合のためにガラスの飛散防止を目的とする保護フィルムを貼っています。このフィルムは無理にはがさないでください。
- スタンド使用時は本機が倒れないように本機を片方の手で支えながら操作してください。



■ すべてのアプリケーションを表示するには（ランチャー画面の表示）

画面下の「 」を選ぶ



ランチャー画面



アプリケーションの続きを見るには



◇ ホーム画面に戻すには

画面下の「 」を選ぶ

■ アプリケーションの一部のご紹介

アイコンやアプリケーションの名称は予告なく変更されることがあります。

- ※：インターネットを経由して利用するアプリケーションです。

DIGA	当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーのファイルを本機で視聴したり、転送することができます。（P17）
DIGA リモコン	本機をリモコン代わりにしてLAN で接続された当社製レコーダーを操作します。 ● 起動する前に、レコーダー側でブロードバンドレシーバーの設定が必要です。
※ DiMORA	当社製レコーダーを遠隔録画予約できる DiMORA のサイトに接続し、サイトを通して本機でレコーダーを遠隔操作できます。
※ i 文庫	青空文庫（著作権が消滅した文学作品などの書籍）を無料でダウンロードして読むことができます。（P21）
i 文庫 サンプル作品	ダウンロード操作をしないでもすぐに書籍が読めるように i 文庫の書籍の一部を集めています。
※ MeMORA	当社製レコーダーを遠隔再生できる MeMORA のサイトに接続し、サイトを通して本機でレコーダーを遠隔操作できます。
※ Podcast	インターネット上に公開された音声ファイルや動画ファイルを登録することで、最新情報をダウンロードして再生します。
※ radiko.jp	インターネットを通じて、ラジオ音声を聴くことができます。（P20）
※ RSS リーダー	ニュースサイトやブログなどを登録することで、最新記事をダウンロードして閲覧できます。

※ YouTube	動画共有サイトの動画を再生します。（P19）
ネットワーク メディア プレーヤー	DLNAを使って、パソコンやDLNA対応機器に記録された動画や写真、音楽を本機で再生したり転送できます。
ネット接続 ロック	お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するために、パスワードをかけてインターネット利用を制限します。
ビデオ	本機で録画した番組や、内蔵メモリーまたは SD カードに保存されたビデオを再生します。（P14）
※ ブラウザ	インターネット上のウェブサイトの閲覧ができます。
※ メール	Eメールを本機で送受信することができます。
ワンセグ	ワンセグ放送を受信します。（P12）
※ 愛用者登録	パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のご愛用者登録のサイトに接続します。
音楽	本機の内蔵メモリーや SD カードに保存された曲を再生します。（P14）
写真	本機の内蔵メモリーや SD カードに保存された写真を表示します。（P15）
設定	本機の設定や無線 LAN 接続の設定など（P16）をします。

ホーム画面からの基本操作（つづき）

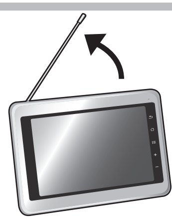
ワンセグテレビを見る

テレビを見るには、アンテナの準備とチャンネル設定が必要です。

STEP 1 アンテナを立てる

アンテナを立てておく

- テレビを見ないときや録画をしないときは、アンテナを元の位置に戻してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。



STEP 2 チャンネル設定をする

お買い上げ後、初めてワンセグテレビをご利用になる場合は、まずチャンネル設定が必要です。



電源を入れて、本機の［ ］を押す

「 （ワンセグ）」アイコンを選ぶ

画面の指示に従って操作していく

STEP 3 テレビを見る

番組名や操作アイコンなどの番組情報表示が消えているときは、画面をタップしてください。

チャンネル切り換え

「 」「 」をタップするたびにチャンネルを切り換えます。



屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。本機の向きや場所、アンテナの角度を変えてみてください。

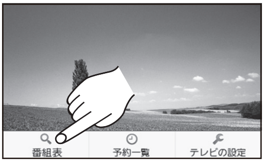
ワンセグ放送を録画する

番組表から録画を予約する

テレビを受信しておいてください。（P12）



本機の [⁝☰] を押す



「番組表」を選ぶ

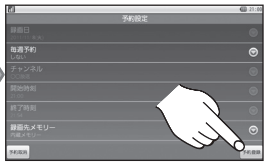


予約する番組を選ぶ

- チャンネルを変更するときは「<」「>」をタップしてください。



「番組予約へ」を選ぶ



「予約登録」を選ぶ

- 内蔵メモリーとSDカードのどちらに録画するかを変更する場合は「録画先メモリー」を設定してください。（お買い上げ時：内蔵メモリー）
- 繰り返し録画する場合は、「毎週予約」を設定してください。

お知らせ

- 番組表には最大 10 番組まで表示されます。
- **放送局または時間帯によって、番組表の番組数が少ないことがあります。**
- 番組表に表示されていないときは、本機の [⮌] を押して戻り、本機の [⁝☰] を押して「予約一覧」から「新規予約」を選んで日時を指定して予約してください。

現在視聴中の番組を録画する

（番組情報表示が消えているときは画面をタップしてから）
「 録画 」を選ぶ

録画を停止するときは

「 録画停止 」を選び、確認画面で「はい」を選んでください。



操作

ビデオファイルを見る

保存先メモリーを選ぶ　：内蔵メモリー　SD：SD カード







電源を入れて、本機の［⌂］を押す

「（ビデオ）」アイコンを選ぶ

再生したいファイルを選ぶ



操作アイコンが消えているときは、画面をタップすると表示します。

- Ⓐ 一時停止 / 再生
- Ⓑ スキップ
- Ⓒ 10 秒戻し /30 秒送りスキップ

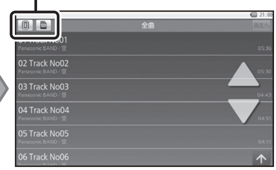
バーに沿ってドラッグ（画面に触れたまま指を動かす操作）して再生位置を変更できます。

音楽を聴く

保存先メモリーを選ぶ　：内蔵メモリー　SD：SD カード



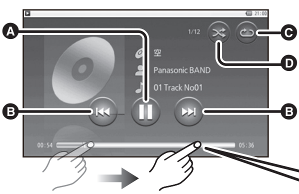




電源を入れて、本機の［⌂］を押す

「（音楽）」アイコンを選ぶ

再生したいファイルを選ぶ



- Ⓐ 一時停止する / 再生する
- Ⓑ スキップする
  - 左右にフリックして切り換えることもできます。
- Ⓒ リピート再生
- Ⓓ ランダム再生

ドラッグして再生位置を変更できます。

写真を見る



電源を入れて、本機の［⌂］を押す



［▦］を選び、アプリケーション一覧を表示する



「(写真)」アイコンを選ぶ

保存先メモリーを選ぶ　▯：内蔵メモリー
SD：SD カード



再生したいファイルを選ぶ



操作アイコンが消えているときは、画面をタップすると表示します。

再生する（スライドショー）/ 一時停止する（シングル表示）

「▶（⏸）」をタップする

スキップ（戻る / 送る）する

画面を左右にフリックする

操作

再生するファイルを準備する

■ ワンセグ放送を内蔵メモリーや SD カードに本機で録画（P13）

■ 他機器で記録したファイルを SD カードに転送

ビデオファイル：当社製レコーダーやテレビなどで録画した録画番組をSDカードに持ち出し

音楽ファイル：当社製レコーダーやステレオシステムなどで音楽ファイル（SD-Audio）をSD カードに転送

写真ファイル：デジタルカメラで SD カードに写真を撮影

■ パソコンのファイルを本機の内蔵メモリーや SD カードに転送

- パソコンのエクスプローラーでドラッグ & ドロップで転送
- Windows Media Playerを使って転送（著作権保護されたファイルを転送する場合、Windows Media Player を使って転送してください）

※ Windows XP をお使いの場合は、必ず Windows Media Player 11 以降にアップデートしてご使用ください。

ホーム画面からの基本操作（つづき）

無線でネットワーク接続する

STEP 1 Wi-Fiをオンにする







電源を入れて、本機の［⌂］を押す

「（設定）」アイコンを選ぶ

「無線とネットワーク」を選び、「Wi-Fi」を選んでチェックを付ける

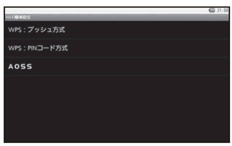
STEP 2 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）と接続する

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が AOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、アクセスポイントと本機を操作してかんたんに接続できます。

- 対応していない場合は、「Wi-Fi 設定」の Wi-Fi ネットワークリストから接続したいネットワークを選び、「接続」を選んでください。

  ※ ネットワークによってはパスワード入力が必要な場合があります。パスワードについては設定した管理者にご確認ください。







「Wi-Fi 簡単設定」を選ぶ

登録するアクセスポイントの方式を選ぶ

画面の指示に従って操作していく

お知らせ

- ワンセグ視聴中や録画中（予約録画中含む）は Wi-Fi を使用できません。

当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線接続して映像を見る

本機能に対応しているレコーダーは、2011 年 2 月以降発売の当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーのみです。

対応機器の品番（2011 年 6 月現在）

DMR-BZT900、DMR-BZT800、DMR-BZT700、DMR-BZT600、DMR-BWT500

- 対応機種については下記サポートサイトでご確認ください。

  http://panasonic.jp/support/viera_1/

- 本機能は録画中の場合など、レコーダーを使用している間は使えない場合があります。詳しくは詳細操作ガイド（PDF ファイル）をご確認ください。（P23）

DIGAメニュー



テレビ視聴 お部屋ジャンプリンク（P18）

レコーダーで視聴できる放送を本機で視聴することができます。



再生 お部屋ジャンプリンク（P18）

レコーダーの HDD 内の録画番組と写真を再生することができます。



ビデオ転送

レコーダーの HDD 内の録画番組を転送することができます。



かんたん自動転送設定

レコーダーの HDD 内の「かんたん転送」に登録した録画番組を、いつの時点の録画番組を転送するかや転送するタイミングを指定して自動的に転送するように設定することができます。

DIGAメニューを起動する

- 本機を無線 LAN に接続しておいてください。（P16）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておいてください。



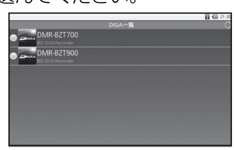
電源を入れて、本機の [⌂] を押す



「(DIGA)」アイコンを選ぶ

初めて DIGA メニューを使う場合は

接続できるレコーダー一覧が表示されます。レコーダーを選んでください。



当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線接続して映像を見る（つづき）

テレビを視聴する お部屋ジャンプリンク

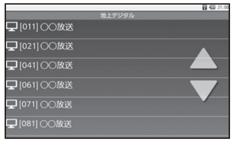
「（DIGA）」アイコンを選んでおいてください。（P17）



「テレビ視聴」を選ぶ



放送を選ぶ



チャンネルを選ぶ

視聴中のチャンネル切り換え

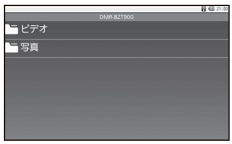
画面をタップして操作表示を表示し、「CH一覧」をタップしてチャンネルを選んでください。

録画番組などを再生する お部屋ジャンプリンク

「（DIGA）」アイコンを選んでおいてください。（P17）



「再生」を選ぶ



分類を選び、見たいファイルを選ぶ

YouTube を見る

インターネット接続された無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に無線 LAN 接続しておいてください。（P16）







電源を入れて、本機の［⌂］を押す

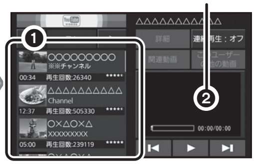
「YouTube (YouTube)」アイコンを選ぶ

- 注意事項の画面が表示されます。内容をお読みの上、「閉じる」をタップしてください。

YouTube メニュー画面から動画の分類を選ぶ

- 「ログイン」を選ぶとキーワードで検索して動画を探すことができます。
- ログインするには YouTube のホームページにアクセスし、アカウントを作成してください。

再生画面



動画を再生する

❶ リストから動画を選ぶ

❷ 再生画面をタップする

リスト画面に戻るには

本機の[⮌]を押してください。



Ⓐ 動画リストの分類を変更します。
Ⓑ 動画リスト
Ⓒ 動画の内容などの詳細情報を表示します。
Ⓓ 連続再生のオン / オフを切り換えます。
Ⓔ 同じ投稿者の動画をリスト表示します。
Ⓕ 関連する動画をリスト表示します
Ⓖ 再生画面
Ⓗ 再生 / 一時停止
Ⓘ スキップ

radiko.jp を聴く

radiko.jp は地上波ラジオの放送エリアに準じた地域に配信するサービスです。配信エリアや放送局については radiko.jp のウェブサイトでご確認ください。

インターネット接続された無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に無線 LAN 接続しておいてください。**（P16）**



電源を入れて、本機の [ ] を押す



「[ ] (radiko.jp)」アイコンを選ぶ

ラジオ音声を再生　停止



ラジオ局を選ぶ

radiko.jp を終了する

本機の [ ] を押し、「終了」を選んでください。

i 文庫を読む

i 文庫は、青空文庫（著作権が消滅した文学作品や著作権者が閲覧を許諾した文学作品）から本機の内蔵メモリーに読みたい書籍を無料でダウンロードして、書籍を閲覧できるテキストリーダーです。

● 書籍をダウンロードするには、インターネット接続された無線 LAN 接続が必要ですが、ダウンロード済みの書籍を読む場合や「（i 文庫サンプル作品）」の書籍（P11）を読む場合は、無線 LAN 接続は不要です。

インターネット接続された無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に無線 LAN 接続しておいてください。（P16）



電源を入れて、本機の［ ］を押す



［ ］を選び、アプリケーション一覧を表示する



「（i 文庫）」アイコンを選ぶ

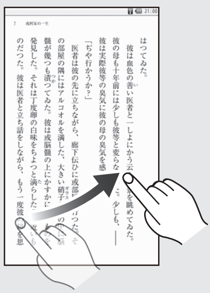


書籍を選ぶ



「ダウンロード」を選ぶ

■ ページをめくる



画面の左右にフリックします。

■ 閉じて本棚に戻る

書籍を閉じて本棚に戻る場合は、本機の［ ］を押してください。

● 書籍を閉じると、自動的に「しおり」が挟まれるので、次に同じ書籍を読むときは続きから読むことができます。

ホーム画面からの基本操作（つづき）

i 文庫を読む（つづき）

■ ページを移動する

❶ 画面の上部をタップして、スクロールバーを表示させる



❷ スクロールバーに沿ってドラッグする

■ 文字の大きさを変更する

❶ （書籍を開いているときに）本機の[ ]を押して次の順で選ぶ

「設定」→「文字」

❷ 大きさを調整する

- タップするたびに大きさが変わります。



- 「標準」を選ぶとお買い上げ時の大きさになります。

■ 本棚を切り換える

❶ 「 」を選ぶ



❷ 本棚を選ぶ

■ 青空文庫のすべての書籍から書籍を探す

- インターネット接続された無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に無線LAN 接続しておいてください。（P16）
- 「 （i 文庫）」アイコンを選んでおいてください。



本機の[ ]を押す



「青空文庫」を選ぶ



書籍を選ぶ
❶ 著者を選ぶ
❷ 書籍を選ぶ



「ダウンロード」を選ぶ

パソコンの動作環境

対応 OS （プリインストールされた各日本語版）	Windows XP SP3	Home Edition/Professional
	Windows Vista SP1、SP2	Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate
	Windows 7 および SP1	Starter/Home Premium/Professional/Ultimate

※ Windows Media Player 11 以降が必要です。

- Windows XPをお使いの場合は、必ずWindows Media Player 11以降にアップデートしてご使用ください。

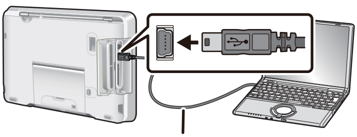
詳細操作ガイド（PDF ファイル）を見る

詳細操作ガイド（PDF ファイル）は本機の内蔵メモリーに保存されています。
本機で詳細操作ガイド（PDF ファイル）を見ることはできません。

- 本機の内蔵メモリーから詳細操作ガイドをパソコンに転送して保存したあと、パソコンでご覧ください。

- 電源を入れておく（P9）

❶ 本機とパソコンを接続する



❷ 接続先選択画面で「USB 接続（内蔵メモリー）」を選ぶ

お買い上げ後初めて USB 接続ケーブルを接続すると、ドライバーのインストールが実行されます。ドライバーのインストールが完了してから本機の接続先を選択してください。

※ ドライバーのインストール状況は、パソコンの右下にメッセージ表示されます。

❸ パソコンのエクスプローラーで「SV-ME970」を開く



画面例：Windows 7使用の場合

❹「取扱説明書」フォルダを開く



❺「sv_me970_guide.pdf」をドラッグ & ドロップでパソコン内の任意の場所に転送する

- PDF ファイルを見るには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/jp/）からダウンロードできます。
- 詳細操作ガイドを消去してしまった場合など再度、詳細操作ガイドが必要な場合は、下記サポートサイトからダウンロードできます。
http://panasonic.jp/support/

故障かな !?

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

電源が入らない／操作できない／電源が切れない

- 電池が消耗していませんか？
  → 電池を十分に充電するか AC アダプターを接続して（P8）操作してください。
- クリップのようなものを使って [RESET] ボタンを押してください。（P6）（本機に SD カードが入っている場合は、SD カードを抜いてから押してください）

充電できない

- 周囲の温度が極端に低いまたは高くありませんか？
  → 電池の充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。
- スタンバイ状態で AC アダプターに接続した場合、動作表示ランプが点灯するまでに数十秒かかることがあります。1 分以上経過しても点灯しない場合は [RESET] ボタンを押してください。（P6）
- 電源を切った状態でパソコンと接続して充電する場合、接続しても本機の動作表示ランプが点灯しなかったり点滅して、充電できない場合があります。一度 USB 接続ケーブルを抜き差しするか、[RESET] ボタンを押してください。（P6）

パソコン接続時に内蔵メモリーを選択したのにパソコンが本機を認識しない

- パソコンや本機の電源（P9）は入っていますか？
- Windows Media Player のバージョンが 10 以下ではありませんか？
  → パソコンと接続して本機を使用するには、Windows Media Player のバージョンを 11 以降にアップデートしてください。
- 一度、USB 接続ケーブルを抜き差しして、接続先選択画面で「USB 接続（内蔵メモリー）」を選び直してください。
- 本機と接続するパソコンの USB 端子を変更してください。
- スタンバイ状態から復帰していますか？（P9）

今まで見ていたチャンネルを受信できなくなった

- 放送局側で放送の送信周波数が変更される場合があり、変更されるとそのままのチャンネル設定では受信できなくなります。チャンネル設定し直してください。この場合地域や都道府県を選んだあと、「次へ」を選んでスキャンしてください。（録画予約をしていた場合は再度予約し直してください）

タップしたものと違うものが選択される

- ご使用していくうちにタップした位置にずれが生じることがあります。下記の手順でタッチパネルの位置調整をしてください。
  1. 本機の [ ] を押して、「 （設定）」→「画面設定」→「タッチパネル調整」を選ぶ
  2. 画面に表示される「＋」マークの中心を順番にタップする（5か所）
     - 調整するときは先が細く丸いもの（SD カードの角やボールペンのキャップなど）を使ってタップしてください。
     - 先の鋭いもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。タッチパネルの表面を傷つけるおそれがあります。

Q&A（よくあるご質問）

詳細操作ガイド（PDF ファイル）を本機で見られるか

- 本機で見ることはできません。本機の内蔵メモリーからパソコンに転送して保存したあと、パソコンでご覧ください。

無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

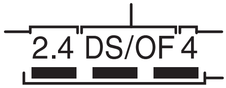
本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は、付属のラベルに記載しています。

変調方式が DSSS と OFDM 方式

2.4 GHz 帯を使用



電波与干渉距離 40 m 以下

2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 使用制限

無線 LAN 機能は日本国内でのみ使用できます。

- 制限をお守りいただけなかった場合、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック株式会社
パナソニック　お客様ご相談センター（裏表紙）

■ 技術適合認証番号の表示方法

本機の［⌂］を押して、「（設定）」→「端末情報（ファームウェア更新）」→「技術適合認証番号」の順で選ぶ

仕様

本書では仕様の一部のみを記載しています。詳しい仕様は詳細操作ガイド（PDF ファイル）をご確認ください。

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 3.7 V（内蔵電池使用時）/DC 5 V、1 A（AC アダプター使用時）
消費電力	4.0 W

充電時間（周囲温度25℃で充電時）		通常充電：約 7 時間 ● 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。
推奨動作温度		0 ℃～ 40 ℃
液晶ディスプレイ（アスペクト比 16:9）		7V 型 （V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です） 画素数：横 800 ×縦 480
画面寸法		幅 15.36 cm、縦 8.66 cm、対角 17.64 cm
スピーカー		300 mW+300 mW（8 Ω）
接続端子	**ヘッドホン端子**	3.0 mW+3.0 mW（16 Ω 時）、∅3.5 mm ステレオミニジャック
	USB 端子	USB 2.0（High Speed）
本体寸法		幅 201.5 mm ×高さ 125.7 mm ×奥行き 21.4 mm（突起部除く）
最大外形寸法		幅 201.5 mm ×高さ 126.7 mm ×奥行き 22.8 mm（JEITA） 幅201.5 mm×高さ124.4 mm×奥行き53.9 mm(スタンド使用時)
質量		約 510 g
防水		保護等級：IPX6/IPX7 相当
内蔵メモリー		4 GB（うちユーザー使用可能領域：約 3.1 GB）
対応記録メディア		SDメモリーカード(8 MB～2 GB)、SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB) SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）

テレビ / 録画

ワンセグテレビ放送を視聴することができるのは、日本国内のみです。

受信チャンネル	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス（ワンセグ）：UHF13 ch ～ 62 ch（データ放送、緊急警報放送受信非対応）
最大連続録画時間	8 時間（AC アダプター使用時）
最大録画番組数	SD カード容量にかかわらず 1 枚あたり 99 番組 内蔵メモリー：4095 番組
予約録画番組数	最大 12 番組
録画ファイル形式 / 画質	SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 240　15 fps（412 kbps）

ビデオ

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

コーデック	H.264（Baseline）、MPEG-4（Simple）、WMV
画角	最大 720 × 480
ビットレート	最大 4 Mbps
SD Video	H.264/ISDB-T Mobile Video Profile（CPRM 対応）

音楽

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式
チャンネル数	2 ch、ステレオ

写真

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

再生可能ファイル形式	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠

無線 LAN

規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b 準拠
伝送方式	OFDM 方式、DSSS 方式
周波数範囲 / チャンネル（中心周波数）	2.412 GHz ～ 2.472 GHz/1 ～ 13 ch
データ転送速度（規格値※）	IEEE802.11g：最大 54 Mbps、IEEE802.11b：最大 11 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャモード
セキュリティ	WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK（TKIP/AES）、 WEP（64 bit/128 bit）

※理論上の速度であり、ご使用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。

AC アダプター

入力	AC 100 V― 240 V、50/60 Hz、25 VA
出力	DC 5 V　1.2 A

リチウムイオン充電式電池（内蔵）

電圧 / 容量（最小）	DC 3.7 V　2150 mAh

電池持続時間の目安



● 右記時間は、詳細操作ガイドに記載の一定の測定条件によるものです。

	明るさ：最小	**明るさ：最大**
ワンセグ	約 7 時間	約 3 時間 30 分
テレビを録画する	約 6 時間 30 分	約 3 時間 30 分
ビデオ	約 9 時間	約 3 時間 30 分
写真	約 9 時間 30 分	約 3 時間 30 分
YouTube	約 5 時間 30 分	約 2 時間
音楽	約 45 時間（画面消灯時）	

本機を廃棄するときのお願い

ご使用済み製品の廃棄に際しては、本機の内蔵メモリーのデータをフォーマットしてデータを完全に消去したあと、本機に内蔵している電池を取り出して電池のリサイクルにご協力ください。電池の取り出しかたについては 29 ページをお読みください。

- 取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

⚠ 危険	**本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない** 取り出した充電式電池は充電しないでください。 ● **火への投入、加熱をしない** ● **くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない** ● **⊕ と ⊖ を金属などで接触させない** ● **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない** ● **電子レンジやオーブンなどで加熱しない** ● **火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない** ● **水中への投入をしない** 発熱・発火・破裂の原因になります。 **電池の液がもれたときは、素手でさわらない** ● 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ● 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
⚠ 警告	**取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない** 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

本機の使用電池

名称　　：リチウムイオン（Li-ion）充電式電池

公称電圧：DC 3.7 V

充電式
リチウムイオン電池使用
Li-ion00

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

■ 電池の取り出しかた

ご使用済み製品の廃棄の際は、下記手順でデータを完全に消去してください。

❶ 本機の [⌂] を押して、「（設定）」→ 「SD カードと端末容量」→「内蔵メモリーをフォーマット」の順で選び、確認画面で「完全消去」にチェックを入れて、画面の指示に従って内蔵メモリーをフォーマットしてください。

❷ フォーマットが完了したあと、本機の [⌂] を押して、「（設定）」→「セキュリティとプライバシー」→「データの初期化」を選び、画面の指示に従ってお買い上げ時の状態に戻してください。

データを完全に消去したあと、本機に内蔵している電池を取り出して電池のリサイクルにご協力ください。

> **製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。**
>
> - **この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。**

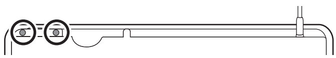
- 電池を使いきってから分解してください。
- ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。（ドライバーは付属していません）
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」（裏表紙）へお問い合わせください。

分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

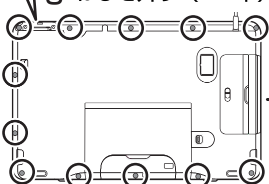
1 アンテナを立てる

2 本機裏面左上のねじを外す（2 本）

- ねじを外すには、プラスドライバーをお使いください。

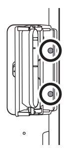


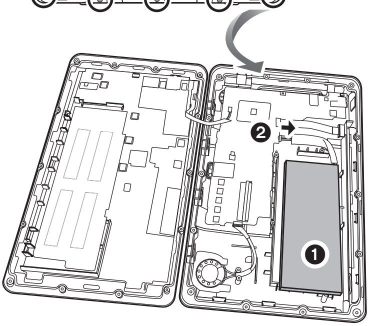
3 ねじを外す（12 本）



4 カード / 端子ふたを開ける

5 ふたを開けたところのねじを外す（2 本）





6 アンテナを戻す

7 本機裏面を開ける

8 電池を取り出す

❶ 電池を持ち上げる

❷ コードを持って引き抜き、電池を取り出す

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。	❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

水のかかるおそれのある場所で、ACアダプターを使わない

浴室、キッチン、洗濯場などで使用すると感電の原因になります。

本機は充電式電池を内蔵しています

- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、AC アダプターを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体や AC アダプターが破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

⚠警告

分解禁止

分解、改造をしない
（製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く）

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機の金属部や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

歩行中や乗り物を運転中はテレビなどの映像を見ない

交通事故の原因になります。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえない危険な場所でヘッドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

電源プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に水などの液体をかけたりぬらしたりしない

本機の内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

- 本機を水のかかるところで使用するときは、カード / 端子ふたを確実に閉めてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では Wi-Fi をオフにする

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 警告

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠ 注意

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

アンテナを目や顔に近づけない、人に向けない

アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。

- アンテナを使用するときは、十分注意してください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60 ℃以上) になります。本機や AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

付属の AC アダプターを使う

付属外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「故障かな！？」（24ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず AC アダプターを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	ポータブルテレビ
●品　番	SV-ME970
●故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体１年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　**診断・修理・調整・点検などの費用**
部品代　**部品および補助材料代**
出張料　**技術者を派遣する費用**

※ **補修用性能部品の保有期間　８年**
当社は、このポータブルテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた･お手入れなどのご相談は･･･

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル（携帯･PHS OK） **0120-878-365** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は･･･

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル（携帯･PHS OK） **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のポータブルテレビの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0511

著作権 / 商標について

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

(1) パナソニックにより、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3) The Independent JPEG Group が開発したソフトウェア
(4) Freetype Project が開発したソフトウェア
(5) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づいてライセンスされたソフトウェア
(6) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL v2.1) に基づいてライセンスされたソフトウェア
(7) GPL v2、LGPL v2.1 以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (5) および (6) に分類されるソフトウェアについては、それぞれ以下の GPL v2/LGPL v2.1 所定の条件をご参照ください。
GPL v2: http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
LGPL v2.1: http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記 (5) および (6) に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。これらの著作権者の著作権表示については、ソースコードを記録した配布メディアをご参照ください。

これら GPL、LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも 3 年間、取扱説明書記載のパナソニックお客様ご相談センターにご連絡いただいたすべての方に対して、ソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPL ソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。

上記 (5)、(6) および (7) に分類されるソフトウェアについては、それぞれ製品のホームの設定メニューから「端末情報（ファームウェア更新）」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」で表示される所定の条件をご参照ください。

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の登録商標です。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは領布を行うことは禁止されています。
  コンテンツ所有者は、Windows Media デジタル著作権管理技術（WMDRM）によって、著作権を含む知的財産権を保護しています。本製品は、WMDRM ソフトウェアを使用して WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスしています。WMDRM ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツの所有者は WMDRM を使用した保護されたコンテンツのソフトウェアによる再生または複製機能を無効化するようマイクロソフトに依頼する場合があります。無効化は、保護されていないコンテンツに影響するものではありません。保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードする際に、マイクロソフトがライセンスとともに、無効化リストを含める場合があることに同意する必要があります。コンテンツ所有者の要請により、コンテンツにアクセスするために WMDRM のアップグレードが必要な場合があります。アップグレードをしない場合、アップグレードが必要なコンテンツにはアクセスできません。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- 本製品には株式会社アルファシステムズの登録商標である「alpha Media Link」が含まれています。
- 本製品は、株式会社 ACCESS および NagisaWorks の i 文庫 for Android を搭載しています。（本機に搭載されている i 文庫は、本機専用に機能を制限しているので、インターネット上で市販されている i 文庫 for Android と同等の機能ではありません）
- ACCESS、ACCESS ロゴは、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- 「KeiType」「リュウミン R」は株式会社モリサワの登録商標または商標です。
- © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- © NagisaWorks
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、
  各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社
ネットワークシステム事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2011

F0611RE1071